

府中市次世代育成支援行動計画検討協議会

「中間のまとめ」へのご意見募集

この度、府中市次世代育成支援行動計画検討協議会において「中間のまとめ」がまとめられました。この中間のまとめに対する皆様のご意見を募集します。

今後、いただいた意見を踏まえ、さらに市としての検討を加えて、府中市次世代育成支援行動計画を策定していきます。

「中間のまとめ」全文については、市役所6階子育て支援課、市役所3階情報公開室、各文化センターの窓口、中央図書館、生涯学習センター図書館、市ホームページでご覧になれます。

期 間 9月30日(木)まで

応募方法 文化センター・市役所子育て支援課への直接提出

郵送(〒183-8703 子育て支援本部子育て支援課へ)

FAX(334・0810)

電子メール(jisedai@city.fuchu.tokyo.jp)

府中市次世代育成支援行動計画とは

少子化が進行し、また、家庭や地域を取り巻く環境が変化していることから、国、都道府県、市町村、企業などの事業者、国民それぞれが、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、また育成される環境を整備するための取組をしていくことが、次世代育成支援対策推進法で規定されました。

府中市でも、市民全体による「次世代の育成」や「次代の地域づくり」という観点から、子どもと子育て家庭への支援のあり方について新たな方策を立てるため、平成17年度から5年間の「府中市次世代育成支援行動計画」を策定することになりました。

「中間のまとめ」とは

行動計画を策定するにあたり、市民の皆さんの意見を計画に反映させるため、府中市次世代育成支援行動計画検討協議会が設置されました。

中間のまとめは、検討協議会が10回にわたって議論した成果をまとめたものです。

「中間のまとめ」に示された重点課題の取組の方向性(抜粋)

保育ニーズへの対応

人口の増加や女性就業率の上昇に伴い、保育サービスの利用希望者が増加しています。このため、認可保育所に十分な定員枠を確保することが必要です。また、認証保育所や保育室も受け皿として活用し、求職中の保護者の保育ニーズにも対応していく必要があります。

就労形態の多様化に伴い、時間延長保育の拡充などの対応が求められます。また、就業環境の整備が進められるよう事業者へ働きかけていくことも重要です。

一時保育については、市立保育所でも実施するとともに、既存施設を活用して対応を図ることが必要です。また、親が子育ての早い段階で周囲にある支援事業・支援活動を利用していけるよう情報提供を行っていくことも必要です。

認可保育所、認可外保育所、幼稚園では、投入されている公費や利用者負担額が異なっており、公平性に配慮した利用者負担のあり方を検討する必要があります。

0～2歳児の母親の孤立化を防ぐための親子交流の活性化

在宅で子育てをしている場合には、家庭の中で母親と子どもだけが向かい合うことで孤立し、子育ての不安や負担が大きくなる傾向があります。このため、誰もが入りやすく、親同士の関係づくりができる「出会い」の場を身近な地域に設けていくことが重要です。さらに、「出会い」の場を通じて知り合った親子が、自主的な活動に移行できるよう支援していくことが重要です。場の運営のためには、親子で楽しめるプログラムを企画することやそのプログラムを実施することができる人材を育成していくことも必要です。

孤立しがちな転入してきた「新住民」と地域住民とが交流するような「接点」を、伝統行事などを利用して地域主体で検討する必要があります。

小学生以上の子どもの居場所づくり

保護者は、子どもが集い遊ぶ場に、様々な体験をして仲間づくりや交流も楽しめることを求めています。このため、地域の施設が遊び場として活用されるよう利用規制を緩和し、地域住民の力を借りながら環境づくりを行うことが必要です。

遊び場を有効に生かすには、その場所を生かした遊びの開発や、それを教える人材が必要であり、幅広く人材を発掘し育成すべきです。

中学生や高校生には、自分達で話し合い、考え、自主的に活動ができるような場を、既存の施設を活用して設けていく必要があります。

このような子どもの居場所では、指導員を配置するなど子どもが気軽に相談できるような体制を整えていくことも重要です。

子育てに関する情報提供の仕組みづくり

子育てに関する情報は、保育や教育に関すること、健康に関すること、悩みや不安に関すること、様々な活動やイベントに関することなど多岐に及びます。このため、サークルの自主活動等の地域情報も含め、情報を一元的に集約し、提供する窓口が必要です。

身近な所で必要なときに情報を入手できるように、新たな子ども家庭支援センターを中心とし、地域へ枝分かれする仕組みを構築していく必要があります。

子育て支援と母子保健の連携の強化

子育てにかかわる悩みや不安は多岐にわたり、複合的なものである場合が少なくありません。このため、子育てに対する不安や母子保健に係る問題等の相談を一度に受け、サービスを調整することが求められます。様々な相談窓口を一元化するなど、子育て支援と母子保健の連携を密にした体制づくりを検討すべきです。

ボランティアや民間組織との協働の仕組みづくり

親子の交流の場や子どもの遊び場を有効に機能させ、また地域情報を効果的に吸い上げる仕組みを構築するためには、子育て支援活動のリーダーや各世代の知恵を生かすような人材を、市民の中から育成していく必要があります。

地域住民やNPO等による活動の立ち上げ時において支援を行うとともに、立ち上げ後も情報や場所の提供、人材育成の支援などをしていくことが求められます。

子育てにかかわる機関、団体、組織等が連携し協働していけるよう互いにつながるネットワークづくりが課題になります。しかけづくりを行政が主導で考える必要があります。

「中間のまとめ」についての説明会を開催します。

直接会場にお越しください。

9月18日(土)午後2時 グリーンプラザ大会議室

9月19日(日)午後2時 女性センター第2会議室

託児を希望する方は、15日までに子育て支援課推進係(335・4192)へ(各日先着10人まで おやつ代100円)

問合せ

府中市子育て支援本部子育て支援課推進係(335・4192)